

令和8年度
日本栄養大学大学院 修士課程 第2期 入学試験問題

受験番号	
------	--

小論文

(問題) 下記1～3の課題の中から1題を選び、800字以上1200字以内で論じなさい。

(解答用の原稿用紙の書き始めに、選択した課題の番号を記入しなさい。)

1. 1990年代以降、世界的な規模で、個人化と呼ばれる現象が生じている。個人化は、人びとの生き方に自由をもたらす一方、様々な生活リスクへの対処が個人に求められるという負の側面がある。

個人化は家族の形態にも変化を生んでいる。これは「家族の個人化」と呼ばれ、2つの水準がある。1つには、地域コミュニティとのつながりが希薄化し、集団としての家族が、社会から孤立化する傾向が見られることである。2つには、家族の内部でも個人化が進み、たとえば子育てにおいては養育機能が低下するだけでなく、虐待やネグレクトのリスクが懸念されている。

このように、家族の個人化は、伝統的な価値規範から人びとを解放し、多様な家族形態を生み出すことになった一方で、これまでの家族が持った様々な機能を弱体化させ、個人を孤立化させる温床にもなっている。

家族の個人化は、家族の多様化という肯定的な側面と、個人の孤立化という否定的な側面がある。この矛盾する正負の側面について、あなたはどのように考えるか。現代の家族の変化を具体的に示し、そのことがどのような社会課題を生んでいるかを説明しなさい。また、その社会課題について、どのような支援や対応が求められるか、あなたの考えを述べなさい。

2. 日本では多くの遺伝子組換え作物が輸入され、食用油等の原料として用いられている。しかし、国内での商業栽培は行われていない。あなたが知っている遺伝子組換え作物の例を一つ以上挙げ、国内で遺伝子組換え作物を栽培することのメリットとデメリットについて、論じなさい。

3. 地球温暖化によって世界の平均気温が1度上昇すると、小麦やコメなどの主要な食糧の生産量が、1人1日あたり120キロカロリー分減少するという推計が、国際的な科学雑誌「Nature」に発表された。これは茶碗のご飯0.5杯分に相当し、品種改良などの対策を講じても減収は避けられないとされている。このような予測を踏まえ、地球温暖化が人々の栄養状態や健康に与える影響について、あなたの考えを述べなさい。